



広 報

－お知らせ版－

しんおんせん 2

新温泉町広報
-平成23年2月号-

線路は続く 浜坂駅は百周年

まちなか
探索



JR浜坂駅は明治44（1911）年11月10日に開業し、今年100周年を迎えます。

当時、鳥取駅までは居組、岩美、塩見（現福部）の3駅で、諸寄駅は昭和6年に仮駅として設置され、東浜と大岩駅は戦後に開業しました。山陰本線の出雲・京都間の開通は、餘部鉄橋や桃観隧道が完成する明治45年3月1日を待つことになります。それまで浦富（岩美）から津居山（城崎）間は、船で旅客を輸送していました。開業当時の浜坂駅は、山陰西線終着駅として重要な役割を持ち、給水塔や転車台、石炭置場などが設けられ、客車用と貨物用とで6番線までありました。

また、浜坂駅は交通の拠点であるとともに町のにぎわいの場として住民に親しまれてきました。近年、鉄道離れが加速し、利用者も減少してきましたが、住民から「駅のれん」がプレゼントされたり、清掃美化活動が続けられるなど駅を大切に思う心は変わっていません。

雪の日には、浜坂駅から東西にまっすぐに伸びる線路がはっきりと見られます。

